

講義名	9013000400 美術Ⅰ Aクラス 【ナンバリング：100013】						
年度	2025	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員	渡邊 雄介		

學習目標(到達目標)

- ・美術における表現活動の意義や目的を理解し、美術表現の基礎的技法を習得できている。
- ・素材や用具を活用し、幼児の創造的な表現を指導、支援できる。
- ・表現や鑑賞を通じて、自他の感じ方や考え方を尊重し、美術活動を楽しむ姿勢を身につけている。

授業概要(教育目的)

保育現場の実態に合った美術表現の基礎的技法を、講義と演習を通じて学ぶ。講義と演習を通して、美術表現に関する見方、感じ方、考え方を豊かにし、表現と鑑賞の指導、支援の能力の向上を図り、美術に対する愛好心を育てる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法

課題の内容と出席状況、受講態度を考慮して、以下の割合で成績を評価する。

- ・授業への参加態度(20%)
- ・実習課題の提出(50%)
- ・実践発表(30%)

課題に対するフィードバック

作品は一定期間保管し、評価基準を説明した後、返却します。
 期末試験の成績について疑問のある学生は、「成績疑問申請」を提出
 してください。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

保育士資格選択科目

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013000401 美術Ⅰ Bクラス 【ナンバリング：100013】						
年度	2025	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員	渡邊 雄介		

學習目標(到達目標)

- ・美術における表現活動の意義や目的を理解し、美術表現の基礎的技法を習得できている。
- ・素材や用具を活用し、幼児の創造的な表現を指導、支援できる。
- ・表現や鑑賞を通じて、自他の感じ方や考え方を尊重し、美術活動を楽しむ姿勢を身につけている。

授業概要(教育目的)

保育現場の実態に合った美術表現の基礎的技法を、講義と演習を通じて学ぶ。講義と演習を通して、美術表現に関する見方、感じ方、考え方を豊かにし、表現と鑑賞の指導、支援の能力の向上を図り、美術に対する愛好心を育てる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法

課題の内容と出席状況、受講態度を考慮して、以下の割合で成績を評価する。

- ・授業への参加態度(20%)
- ・実習課題の提出(50%)
- ・実践発表(30%)

課題に対するフィードバック

作品は一定期間保管し、評価基準を説明した後、返却します。
期末試験の成績について疑問のある学生は、「成績疑問申請」を提出してください。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

保育士資格選択科目

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013000500 日本国憲法 【ナンバリング：101003】						
年度	2025	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員	高須 則行		

學習目標(到達目標)

- ② 基本的人権の尊重の精神およびその内容、平和の尊さを考え、民主政治の仕組みを説明できる。

授業概要(教育目的)

法とは何か、その要点を説明した後に国家の基本法・最高法規としての憲法の持つ意義を考え、国家の統治体制の基礎を定める法としての憲法と、近代民主主義国家になくてはならない憲法について考察し、日本国憲法を通じて、日本の政治体制、基本的人権の保障について、基礎的理論から学び、具体的判例などを通じて現実の問題点を掘り起こしていきたい。

卒業認定・学位授与の方針との関連

健全で豊かな情操と、保育の基盤となる教養や総合的な判断力を身につけている。

評価方法

定期試験および小テスト等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

小テストの模範解答を示す。

参考文献

講義の中で、適宜紹介する。

講義時使用テキスト

『憲法概説(再訂補訂版)』(司法協會)

資格との関連

幼稚園教諭二種必修資格、保育士資格選択科目

実務との関連

学生へのメッセージ

新聞・TVなどの報道には関心を持ってほしい。女性天皇制・天皇の国事行為・天変地異と危機管理・日本を取り巻く国際社会の変化など、憲法改正論が巷を騒がせている。他方で国民の人権はどうなるのか是非関心を持ってニュースに接してほしい。

授業計画表

[illegible]

講義名	9013000600 心理学 【ナンバリング：100004】						
年度	2025	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員	杉山 幸子		

學習目標(到達目標)

以下の2点を到達目標とする。

1. 保育や幼児教育のために必要な心理学の基礎的な概念について説明することができる。

2. 心理学の基本的な研究方法を理解し、子ども理解に活用することができる。

授業概要(教育目的)

心理学というと、心理テストやカウンセリングを連想するかもしれないが、それらは心理学のごく一部に過ぎない。実際には人の心のはたらきを知るために、多様な角度からの研究が行われており、その中には一般的な心理学のイメージとはかなり違っているものもあるだろう。この授業では、心理学の基礎的な知識を学び、心理学的なものの方方を知ることによって、保育や教育に関する心理学の専門科目を学ぶための土台となる力を養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「神を敬し、人を愛する」というカトリック精神に基づき、幅広い教養および総合的な判断力と豊かな人間性を身につけている。

評価方法

定期試験によって評価する。また、提出物(リアクションペーパー等)の状況を参考にする。

課題に対するフィードバック

リアクションペーパーの結果は集約して次回にフィードバックする。試験の結果(点数・内容)について知りたい学生には個別に開示するので、研究室を訪問すること。定期試験で不合格だった学生は、再試験の前に確認してほしい。

参考文献

講義時使用テキスト

テキストは使用しない。

資格との関連

保育士資格選択必修科目

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013000901 英語Ⅰ 【ナンバリング：101005】					
年度	2025	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次
対象学科	幼児保育学科			担当教員	三浦 文恵	

学習目標(到達目標)

保育園、幼稚園での様々なシチュエーションで使われる語彙・表現・会話を理解し使える。

- ① 保育の現場で使われる英語の語彙、表現を使える。
② 毎時行アクティビティやロールプレイングを通し、英語で子どもや保護者とコミュニケーションがとれる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

T神を敬し、人を愛する」というカトリック精神に基づき、幅広い教養および総合的な判断力と豊かな人間性を身につけている。

評価方法

定期試験の結果をベースに、授業態度(特にPair Workなどの演習に取り組む態度)、課題の提出状況などを考慮し総合的に評価する。

講義時使用テキスト

Peter Vincent, Naoko Nakazato 著 Speaking of Childcare 南雲堂

資格との関連

幼稚園教諭二種免許状必修科目、保育士資格選択科目

実務との関連

授業概要(教育目的)

IつのUnitを二コマで完結する。Dialogueのロールプレイングで簡単な会話の練習を行い、Practiceでは、ペアワークなどにより実践的な会話のレベルまで到達する。また、Grammarでは基礎文法、ListeningではdictationによるListening Comprehensionの上達を目指す。最後に語彙の定着を確認する。

課題に対するフィードバック

課題については、次の講義で板書で解答を説明し知識の定着を図る。また、定期試験の結果が知りたい学生には解答用紙を返却する。

参考文献

中本幹子著・実践家からの児童英語教育法 実践編AB、APRICOT

学生へのメッセージ

皆さんが実習を行う幼稚園、保育園では、近年多くの外国人の子どもが在籍しています。実習の反省会では、「少しでも英語が話せれば、子どもと保護者の方ともっとコミュニケーションがとれたのに」といった話をよく聞きます。中学、高校では学ばなかった、保育に関する英語、特に幼児が使う語彙や表現を「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」で学び、より充実した実習にしましょう。

授業計画表			
	内容	予習	復習
1	1. Placement Test、自己採点、解説 Unit 1 What's your name? I ①Speaking(Dialogue 1,2) ②Grammar 1 (Questions and Answers) ③Practice 1 (Matching) ④Grammar 2 (Present Tense) ⑤Practice 2 (Pair Work) ⑥Note, Present Tense	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	Placement Testの問題をもう一度解き、自分の弱点をチェックする。また、付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
2	2. Unit 1 What's your name? ①Practice 3 (Fair Work) ②Practice 4 (Listening) ③Practice 5 (Fair Work) ④Practice 6 (School Supplies)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
3	3. Unit 2 Where are you from? I ①Speaking(Dialogue 1,2,3) ②Grammar(Questions and Answers in Present Tense) ③Practice 1 (Fill in the Blanks) ④Practice 2 (Nationality and Language) ⑥Practice 3 (Listening)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
4	4. Unit 2 Where are you from? II ①Practice 4 (Fair Work) ②Practice 5 (Find Someone Who) ③Culture Note ④Practice 6 (Sounds)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
5	5. Unit 3 Good morning! I ①Speaking(Dialogue 1,2,3) ②Grammar 1 (Two-word Verbs) ③Textbook English vs. Real English ④Practice 1 (Listening) ⑤Grammar 2 (Present and Present Continuous Tenses) ⑥Practice 2(Verb Practice) ⑦Practice 3(What are you doing?)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
6	6. Unit 3 Good morning! II ①Practice 4(Nursery Teacher Activities) ②Grammar 3 (Adverbs of Frequency) ③Textbook English vs. Real English ④Practice 5 (Short Answers) ⑤Practice 6 (Fair Work) ⑥Practice 7 (Listening) ⑦Practice 8 (Skit)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
7	7. Unit 4 Are you OK? I ①Speaking(Dialogue 1,2,3) ②Key Words: Symptoms ④Practice 1 (Listening) ⑥Practice 2 (Symptoms)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
8	8. Unit 4 Are you OK? II ①Practice 3 (Verbs) ②Practice 4 (Medical Products) ③Practice 5 (Listening) ④Practice 6 (Skit)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
9	9. Unit 5 What are you doing? I ①Speaking(Dialogue 1,2,3) ②Grammar (Special Verbs) ③Practice 1 (Fill in the Blanks)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
10	10. Unit 5 What are you doing? II ①Practice 2 (What Are the Children Doing?) ②Practice 3 (Fair Work) ③Practice 4 (Writing)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
11	11. Unit 6 How are you feeling? I ①Speaking(Dialogue 1,2,3) ②Key Words: Express your feeling ③Practice 1 (Feeling Words) ④Practice 2 (Feeling Words) ⑤Grammar (Answering Negative Questions)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
12	12. Unit 6 How are you feeling? II ①Practice 3 (Writing) ②Practice 4 (Mime Activities) ③Practice 5 (Fill in the Blanks) ④Practice 6 (Pair Work)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
13	13. Unit 7 What's she like? I ①Speaking(Dialogue 1,2) ②Practice 1 (Words to Describe People) ③Practice 2 (More Words to Describe People) ④Practice 3 (Writing)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
14	14. Unit 7 What's she like? II ①Practice 4 (Matching) ②Practice 5 (Family Tree) ③Practice 6 (Your Family Tree) ④Practice 7 (Writing)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。

講義名	9013001300 社会福祉 【ナンバリング：202004】						
年度	2025	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員	天摩 雅和		

學習目標(到達目標)

本科目では、現代社会における社会福祉の意義や歴史、制度や実施体系等について理解する。また、社会福祉の動向や今後の課題について理解することを目的とする。

- ・社会福祉の意義と歴史的変遷について説明できる。
- ・社会福祉の制度や実施体系について説明できる。
- ・社会福祉の動向と課題について説明できる。

授業概要(教育目的)

社会福祉の意義や歴史的変遷、そして、保育者にとって必要な社会福祉の法律や福祉を支える機関についての基礎的知識を習得し、現代の求める福祉とは何かについて理解を深める。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

定期試験、課題提出状況、受講態度等により総合的に判断する。

課題に対するフィードバック

試験の成績を知りたい学生には個別に伝える。

参考文献

講義時使用テキスト

1. 社会福祉(ミネルヴァ)石田慎二/山縣文治 編

資格との関連

保育士資格選択科目

学生へのメッセージ

保育士は福祉分野の専門職ですので、社会福祉について学んでいきましょう。

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013002900 保育実習ⅠA 【ナンバリング：202046】						
年度	2025	開講時期	通年	講義区分	実習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員	本吉 好		

學習目標(到達目標)

本科目は、保育士の資格取得を目指すにあたって、既習の教科の内容を踏まえて保育所での現場実習を経験することにより、知識や技術の修得を深めるとともに、保育者の業務や職業倫理について具体的に学ぶことを目的とする。到達目標は以下の5点である。

①保育所、児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解し、説明することができる

②観察や子どもとの関わりを通して子ども理解を深め、保育に役立たせる

③これまで学んできたことを踏まえ、子どもの保育及び保護者支援について総合的に修得する。

④保育の計画、観察、記録及び自己評価等について理解し、実習日誌等に適切に記載できるようになる。

⑤職業倫理に基づいた保育者の業務を学び、行動できるようになる

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

保育者としての責務を理解し、他の保育者や専門職者と協働して、子どもの最善の利益を追求することができる。

ともの取替の利益を追求するところから、

評価方法

保育施設からの実習評価および実習日誌を基に評価する。
「保育実習指導Ⅰ」の講義に合格できない場合には、実習単位は不

「保育実習指導 1」の講義に口役としない場口には、実習単位は小口格となる。

惜くは ω_0

講義時使用テキスト

資格との関連

保育士資格必修科目

実務との関連

授業概要(教育目的)

近年、子どもを取り巻く生活環境は大きく変容し、保護者の子育てに対する意識も変化してきている。それに伴って、保育の社会的ニーズは複雑化・多様化し、保育士に対する期待は増大している。したがって、保育士より専門化された知識や技術をも身につけることが求められ、さらには人間性や資質までも問われることとなっている。そのため、本科目では、そうした保育の現場を体験することにより、保育所の機能や役割、保育士の職務や専門性、地域福祉等について、講義で学んだものを発展させてより深く理解するとともに、これらからの自身の課題を見出し、真摯に受け止める学びの姿勢を養うとする。

課題に対するフィードバック

実習終了後の事後指導において個別にフィードバックする。

参考文献

学生へのメッセージ

授業計画表

[illegible]

講義名	9013003300 保育実習指導Ⅱ 【ナンバリング：200050】						
年度	2025	開講時期	通年	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科			担当教員	野口 和也		

學習目標(到達目標)

既習の教科の内容やその関連性を踏まえ、実習に向けて保育実践力をより強化することを目的とする。

到達目標は以下の4点である。

1. 明確な視点をもって観察・記録し、考察することができる。
2. 適切な形式で保育計画を作成し、実践に臨むことができる。
3. 保育士の業務や職業倫理について説明することができる。
4. 実習の事後指導を通じて、実習の総括と自己評価を行い、自身の課題を具体的に述べることができる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育者としての責務を理解し、他の保育者や専門職者と協働して、子どもの最善の利益を追求することができる。

評価方法

平常点(授業態度)と課題(提出状況、内容)によって評価する。

講義時使用テキスト

『実習の手引き』及び『実習関係提出書類』(学内配布)を使用する。毎時間必ず持参すること。

資格との関連

保育士資格必修科目

実務との関連

授業概要(教育目的)

本科目は本学カリキュラムにおいて保育士資格取得のために必須としている「保育実習Ⅱ」(保育所)の事前および事後指導として行うものである。しかし、保育実習のⅠとⅡが単に同じ施設で学ぶだけでなく、両者が連動して学びが発展することが期待できるように、保育実習指導のⅠとⅡも切り離されたものではない。本科目では保育実習指導Ⅰと合わせて、学生が実習を円滑に行い、保育士としての専門性と実践力を高めることを目指した指導を行う。

課題に対するフィードバック

提出された課題については、添削し、個別に指導をおこなう。

参考文献

学生へのメッセージ

授業計画表

[illegible]

講義名	9013004600 教職概論 【ナンバリング：201008】						
年度	2025	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員	根城 隆幸		

學習目標(到達目標)

以下の4点を到達目標とする。

1. 我が国における今日の保育・教育や教職の社会的意義を説明できる。

2. 保育・教育の動向を踏まえ、今日の保育士・保育教諭等に求められる役割を説明できる。

3. 保育士・保育教諭等の職務内容や課せられた服務上・身分上の義務を説明できる。

4. 保育所・幼稚園・こども園が内外の専門家等と連携・分担して対応する必要性を説明できる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成する。

評価方法

授業態度、課題提出、課題発表、定期試験等により総合的に評価する。

講義時使用テキスト

「保育者論」 大豆生田啓友・秋田喜代美・汐見稔幸 編著 ミネルヴァ書房

資格との関連

幼稚園教諭二種免許状必修科目、保育士資格選択科目

実務との関連

高等学校教諭として青森県内の高等学校や県教育委員会に勤務。実務経験をもとに教職について指導する。

授業概要(教育目的)

乳幼児を育てることにおける教職の意義及び役割について理解し、自分なりの教職の理想像を理解する。

課題に対するフィードバック

保育を取り巻く社会状況や課題等について、毎回、講評する。

参考文献

必要に応じて、講義時に紹介する

学生へのメッセージ

乳幼児にかかわることに興味関心を持ち、教職についての責任を自覚する。

授業計画表

[illegible]

講義名	9013005902 表現Ⅱ						
年度	2025	開講時期	後期	講義区分		対象年次	
対象学科				担当教員	中嶋 栄子		

學習目標(到達目標)	授業概要(教育目的)
------------	------------

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法	課題に対するフィードバック
------	---------------

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連 学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007100 子どもの食と栄養Ⅱ Aクラス 【ナンバリング：202015】						
年度	2025	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科			担当教員	加藤 康子		

學習目標(到達目標)

1. 子どもの発育・発達と食生活の関連について説明できる。
2. 食育の基本とその内容および食育のための環境を地域社会の文化とのかかわりを説明できる。
3. 家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題について説明できる。
4. 特別な配慮を要する子どもの食と栄養について説明できる。

授業概要(教育目的)

健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的知識を理解し、子どもの年齢や発達過程における食生活や食生活に特別な配慮を要する子どもへの対応を学ぶ。また、食を通した保護者への支援や保育実践に係る食育の基本と内容について学ぶことを目的としている。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

定期試験、課題提出などにより総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

提出されたレポート・感想は、次の授業で代表的なものを紹介するとともに、個別に評価し、コメントをつけて返却する。

参考文献

講義時使用テキスト

堤ちはる・土井正子編著／子育て・子育てを支援する 子どもの食と栄養／萌文書林
食品解説つき 新ビジュアル食品成分表 新訂第二版／大修館書店

資格との関連

保育士資格必修科目

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007204 ピアノレッスンⅠ（再履修） 【ナンバリング：210041】						
年度	2025	開講時期	通年	講義区分	実技	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員	中嶋 栄子		

學習目標(到達目標)

- 音楽理論を理解し、階名読みやリズムなどの読譜力を身に着ける。
- 継続的に、ピアノに取り組む姿勢を養う。
- バイエル、弾き歌いのためのコードネームを理解し実践できる。
- ピアノ演奏を通し、個の人格形成やモチベーションの向上を図り、豊かな表現ができる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

ピアノ表現発表、受講態度(ピアノレッスン進度票・自己チェックシート)によって評価する。

講義時使用テキスト

幼児のための表現指導 うたって・つくって・あそぼう 幼児表現教育研究会＝編著 出版：音楽之友社

資格との関連

保育士資格選択科目

実務との関連

保育士・幼稚園教諭・中学、高校の教員免許のほか、ピアノ指導、音楽、ソルフェージュ、合唱の指導経験を有している。その他、演奏活動多数。

授業概要(教育目的)

子どもが音楽表現に触れることで、感性豊かに育ち、音楽を通して誰もが表現を楽しめるよう援助できる事が、保育者の専門性にとって不可欠なものとなる。子どもの豊かな感性を育てるため、指導者が楽しんでピアノや弾き歌いができるよう、基礎・基本の定着を図る。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

1. バイエル 教則本
2. ブルグミュラー25の練習曲
3. ツェルニー100番練習曲
4. ツェルニー30番練習曲
5. ソナチネ、ソナタ、シュベルト、メンデルスゾーン、ショパン、ペーテルヴェン、その他。

学生へのメッセージ

ピアノレッスンに慣れるまで時間がかかります。先生方の助言を良く聞き、個人で毎日練習をしレッスンを臨んで下さい。

爪が長いと挟まって痛いだけでなく爪が割れてしまうこともあります。鍵盤に当たってカチカチと音がしてしまい、雑音をし作り出し、耳障りだと感じてしまいます。爪は短く切り、受講して下さい。

ピアノ表現発表は皆の前で演奏してもらいます。指導者になった時に困らないように基本的技術を身につけましょう。

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007302 ピアノレッスンⅡ Bクラス 【ナンバリング：210042】						
年度	2025	開講時期	後期	講義区分	実技	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員	中嶋 栄子		

學習目標(到達目標)

- 音楽理論、読譜、和声づけ等を理解し、表現できる。
- ピアノ、強き歌いのためのコードネームを理解し実践できる。
- 保育士・幼稚園教諭にふさわしい基礎技能を高め、強き歌いができる。
- ピアノ演奏を通し、個の人格形成やモチベーションの向上を図り、豊かな表現ができる。

授業概要(教育目的)

1. ピアノを弾く姿勢、楽譜を読む能力、音楽用語、和声等を理解する。
2. バイエル、ブルクミュラー、ソナチネ等の基礎力を養う。
3. 「うた一つ一つてあそぼう」の冊子から現場で活用でされる曲を数多く身に付ける。
4. 弾き歌いは保育者にとって必要不可欠な技能であるので実習で活用できる様に学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

受講態度・前期・後期のピアノ試験によって評価する。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

2. バイエル 教則本
3. ブルクミュラー 25の練習曲
4. ツェルニー 100番練習曲
5. ツェルニー 30番練習曲
6. ソナチネ、ソナタ、シューベルト、メンデルスゾーン、ショパン、ベートーヴェン、その他。

講義時使用テキスト

1. うたって・つくって・遊ぼう(幼児表現教育研究会、音楽之友社)

資格との関連

保育士資格選択必修科目

実務との関連

保育士・幼稚園教諭・中学、高校の教員免許のほか、ピアノ指導、声楽、ソルフェージュ、合唱の指導経験を有している。その他、演奏活動多数。

学生へのメッセージ

ピアノレッスンに慣れるまで時間がかかります。先生方の助言を良く聞いて、個人で練習した曲を見て頂く事。
ピアノの表現発表は、皆の前で演奏してもらいます。指導者になった時に困らないように基本的技術を学ぶ事。
レッスンを欠席しないこと。

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007400 ピアノレッスンⅢ Aクラス 【ナンバリング：210043】						
年度	2025	開講時期	前期	講義区分	実技	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科			担当教員	中嶋 栄子		

學習目標(到達目標)

1. ピアノレッスンⅡで学んだ基礎を活用して実践的表現ができる。
2. 保育士・幼稚園教諭にふさわしい基礎技能を高め、弾き歌いの向上に努め実践的表現ができる。
3. ピアノ演奏を通し、個の人格形成や美的音楽表現の向上を図り表現できる。

授業概要(教育目的)

- 音楽を認知する知識や和音構成を理解し、旋律を表現できる。
- 想像力、イメージを心と身体で豊かに表現し、保育実習Ⅱ、幼稚園実習に備える。
- 童謡弾き歌いでは、①歌が伴奏よりも浮き出ている②途中で止まらずに最後までに演奏する③表情豊かに演奏できることを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

ピアノ表現発表(童謡課題曲、自由曲)
受講態度(課題曲確認シート、ピアノレッスン進度票)

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

うたって・つくて・遊ぼう(幼児表現教育研究会、音楽之友社)
行事に役立つ 幼稚園のマーチ・ピアノ曲集 坂東貴余子・見角幾代
共著 ドレミ楽譜出版社

講義時使用テキスト

保育士のための こどものうた名曲集150 (シンコーミュージック スコア編集部)

資格との関連

保育士資格選択必修科目

実務との関連

保育士・幼稚園教諭・中学、高校の教員免許のほか、ピアノ指導、声楽、ソルフェージュ、合唱の指導経験を有している。その他、演奏活動多数。

学生へのメッセージ

個人に合わせた指導を徹底して行います。レッスンを欠席しないこと。
先生方の助言を良く聞き、個人で毎日練習をし、レッスンに臨んで下さい。

爪が長いと挟まって痛いだけでなく爪が割れてしまうこともあります。鍵盤に当たってカチカチと音がしてしまい、雑音をしり出し、耳障りだと感じてしまいます。爪は短く切り、受講して下さい。

指導者になった時に困らないように基本的技術を身につけましょう。

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007500 ピアノレッスンⅣ Aクラス 【ナンバリング：210044】						
年度	2025	開講時期	後期	講義区分	実技	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科			担当教員	中嶋 栄子		

學習目標(到達目標)

1. ピアノレッスンⅢで培った基礎を活用して実践的表現ができる。
2. 保育士・幼稚園教諭にふさわしい基礎技能を高め、弾き歌いの向上に努め実践的表現ができる。
3. ピアノ演奏を通し、個の人格形成や美的音楽表現の向上を図り表現できる。

授業概要(教育目的)

1. コードネームを理解し音楽の流れを意識した表現の工夫。
2. 音楽表現の深さと詩情的表現演奏を培う。
3. 伴奏付けと非和声音の扱いの工夫。
4. 2年間の集大成における自由表現の向上を図る。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

受講態度、ピアノ表現発表によって評価する。
課題表現発表(童謡)
滑らかに演奏する、歌が伴奏よりも浮き出ている、途中で止まらずになめらかに演奏する、表情豊かに演奏する

自由曲
アナリーゼが理解されている
曲の表情、テクニックが確かである

講義時使用テキスト

資格との関連

保育士資格選択必修科目

実務との関連

保育士・幼稚園教諭・中学、高校の教員免許のほか、ピアノ指導、声楽、ソルフェージュ、合唱の指導経験を有している。その他、演奏活動多数。

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007502 ピアノレッスンⅣ Bクラス 【ナンバリング：210044】						
年度	2025	開講時期	後期	講義区分	実技	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科			担当教員	中嶋 栄子		

學習目標(到達目標)

1. ピアノレッスンⅢで培った基礎を活用して実践的表現ができる。
2. 保育士・幼稚園教諭にふさわしい基礎技能を高め、弾き歌いの向上に努め実践的表現ができる。
3. ピアノ演奏を通し、個の人格形成や美的音楽表現の向上を図り表現できる。

授業概要(教育目的)

1. コードネームを理解し音楽の流れを意識した表現の工夫。
2. 音楽表現の深さと詩情的表現演奏を培う。
3. 伴奏付けと非和声音の扱いの工夫。
4. 2年間の集大成における自由表現の向上を図る。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

受講態度、ピアノ表現発表によって評価する。
課題表現発表(童謡)
滑らかに演奏する、歌が伴奏よりも浮き出ている、途中で止まらずになめらかに演奏する、表情豊かに演奏する

自由曲
アナリーゼが理解されている
曲の表情、テクニックが確かである

講義時使用テキスト

資格との関連

保育士資格選択必修科目

実務との関連

保育士・幼稚園教諭・中学、高校の教員免許のほか、ピアノ指導、声楽、ソルフェージュ、合唱の指導経験を有している。その他、演奏活動多数。

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007614 ゼミナールⅠ 天摩ゼミ 【ナンバリング：210058】						
年度	2025	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員	天摩 雅和		

學習目標(到達目標)

学生自らが、発達障がい児の支援に関する研究テーマを設定し、調査及び文献や資料等の収集を行い、報告書を作成する。

・調査及び文献や資料の収集を行い、報告書を作成することができる。

授業概要(教育目的)

学生自らが、発達障がいに関する研究テーマを設定し、報告書を作成する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

授業での発表や発言、レポートなどにより総合的に判断する。

課題に対するフィードバック

レポート課題は採点の上、返却する。

参考文献

講義時使用テキスト

なし

資格との関連

学生へのメッセージ

ゼミを通して人間的にも成長していただければと思います。

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007615 ゼミナールⅠ 差波ゼミ 【ナンバリング：210058】						
年度	2025	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員	差波 直樹		

學習目標(到達目標)

以下の2点を目標とする。

1. レポートを書くための資料の収集方法や、その資料をもとに文章にまとめる基礎を身に付け、自分なりの主張をもってレポートを作成する。
2. 自分の伝えたいことを、スライド等にまとめるとともに、それを他者に効果的に伝える技法を身に付ける。

授業概要(教育目的)

短大の2年間の講義では、レポートを作成したり、グループワークで話し合ったことをまとめ、発表する機会が多々ある。そうした学びの基礎として、自分の考えを文章としてまとめ、レポートとして作成する力、また、その作成したものを適切に発表し伝える力を身につけることをこの講義の目的とする。

保育現場での実践においても、根拠を持って同僚や保護者に伝える力は求められる。その基礎基本を、演習を通して学ぶこととする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育実践の中で、自分の考えを適切に、根拠をもって他者に伝える力の基礎を身につける。

評価方法

授業へ取り組む態度と、研究テーマに基づいた協議などでの積極性などの姿勢によって評価する。

課題に対するフィードバック

各回ごとに、本学授業支援システムを通して、気づきや評価、反省点や改善点などを個別に知らせる。

参考文献

講義内容に応じて適宜紹介する。

講義時使用テキスト

なし。

資格との関連

特記事項なし。

実務との関連

幼稚園教諭として、公立幼稚園に勤務した。子どもの姿をどのように読み取ったかを同僚や保護者と共有するため、様々な幼児教育理論を子どもに伝えるようにしてきた。実際の子どもの姿と、理論を結びつけて、他者に伝え共有していく基礎を身につけてほしい。

学生へのメッセージ

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007616 ゼミナールⅠ 中嶋ゼミ 【ナンバリング：210058】						
年度	2025	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員	中嶋 栄子		

学習目標(到達目標) ・楽譜・音符・リズムを理解し表現できる。 ・音楽理論を理解し、基礎的な演奏技能を習得する。	授業概要(教育目的) ・ハンドベル演奏を通じ、個の人格形成やモチベーションの向上を図り豊かな表現ができる。
--	---

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育に必要な専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな表現方法を構成することができる。

評価方法

受講態度、ハンドベル表現発表により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

必要に応じてプリントを配布する。

資格との関連

学生へのメッセージ

音楽経験の有無に関わらず、楽譜が読めなくても演奏可能な楽器です。イングリッシュハンドベルとハンドチャイムを通して音楽を楽しみ、自己を自然に表現するための技術と能力を身につけましょう。

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007619 ゼミナールⅠ 加藤康子ゼミ 【ナンバリング：210058】						
年度	2025	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員	加藤 康子		

學習目標(到達目標)

短期大学の2年間に有意義に送るために必要と思われる基礎学習を、短期大学部という学びの場を最大限に活かし、多様な経験と学習を積み重ね、自分を成長させる可能性を広げること、短期大学での学び方を習得するという意味で、アカデミックスキルの基礎を習得することを到達目標とします。

授業概要(教育目的)

短期大学部で学修意義を明確にし、言語表現に即ち、自分の考えを伝える能力の習得を旨とする授業を通して、ゼミ生に物事を論理論理的に考える思考を身に付けたり、人の話を聞き、自分の話を正確にかつ巧みやすく相手に伝えるコミュニケーションを身に付けてもらうことを目標とした。レポートの書き方、発表（プレゼンテーション）の仕方について学習したことを使って、各々が理解できる形で提示する工夫をすることができるようになると、学生各自が受講している授業にも役立てられるようにすることを旨とした。

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法

活動についての取り組み、積極性や計画性、参加姿勢などで評価します。

課題に対するフィードバック

授業内の提出物、プレゼンテーションについては、授業内でフィードバックをおこないます。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007621 ゼミナールⅠ 本吉ゼミ 【ナンバリング：210058】						
年度	2025	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員	本吉 好		

學習目標(到達目標)

本ゼミの学習目標は、子どもたちの体力・運動能力向上のための方法を学び、実践する力を身につけるため、以下の目標を設定する。

1. 幼児向け体操の創作、実践することができる
2. 子どもの自発的な活動を促すことができる運動あそびの立案、実践することができる

授業概要(教育目的)

現在、子どもたちの体力・運動能力は低下傾向にあり、幼児期の運動経験が重要視されている。そこで本ゼミは、子どもたちの体力・運動能力を向上させるための運動あそびを様々な場面(屋内、屋外など)や道具(ボールや縄など)のテーマを設定し、テーマに合わせた運動あそびの立案から実践へつなげる。また、幼児の体操を創作、習得することにより、表現力をもつに付ける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

グループ活動および課題に対する取り組み方や積極性等を総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

資料や映像等を通してフィードバックを行う。

参考文献

授業内で適宜指示する。

講義時使用テキスト

特に使用しない。
必要に応じて適宜提示する。

資格との関連

実務との関連

学生へのメッセージ

保育者になったときに、運動あそびを実行できる力を身に付けるための活動をします。

体を動かすことが好きな人、運動あそびの専門性を高めたい人、苦手だからこそ頑張りたい人はぜひお越しください。

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007623 ゼミナールⅠ 橋本ゼミ 【ナンバリング：210058】						
年度	2025	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科			担当教員	橋本 知子		

學習目標(到達目標)

1. 幅広い音楽の知識を身につけ、豊かな情操を培う。
2. 表現することの喜びを仲間と分かち合うことができる。
3. 伝統と文化を尊重し、道徳心を培う。

授業概要(教育目的)

1. 自らが活動へ積極的に関わりを持ち、協同/共感/思いやりの精神を学ぶ。
2. 様々な楽器でのアンサンブル活動を通し、保育士として必要とされる技能・技術の習得を目指す。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術・技能を有し、音楽を通し子どもの表現力を育むことができる。

評価方法

受講態度、表現発表内容等、総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

グループワークを見守りながら、講義の最後にコメントする。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

保育の専門的知識と技術を有し、現場で楽器の指導展開が出来る。

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007627 ゼミナールⅠ 三上ゼミ 【ナンバリング：210058】						
年度	2025	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員	三上 幾子		

學習目標(到達目標)

1. 「自らテーマを決め、読み、調べ、まとめる」スキルの基礎を身につける。
2. 自分の考えを適切に述べて、グループでの質疑応答や討論ができる。

授業概要(教育目的)

少人数のクラスに分かれ、大学での学びをスムーズに行うために必要な知識・技能・方法などを主体的・能動的に学ぶ授業です。一人ひとりの「考える力」と「表現する力」を高め、卒業までのさまざまな科目の土台となるレポート作成や発表の力を身に付けます。

卒業認定・学位授与の方針との関連

健全で豊かな情操と、保育の基盤となる教養や総合的な判断力を身につけている。

評価方法

課題(レポート)の提出と、授業時の発言等の取り組み状況によって判断する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート)の成績を知りたい学生には、個別に開示する。

参考文献

『大学生学びのハンドブック』(世界思想社編集部編)世界思想社

講義時使用テキスト

『基礎演習とプレゼンテーション』の手引き(八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部)

資格との関連

実務との関連

学生へのメッセージ

・ゼミナール1では、丁寧な指導を行使するために少人数(6名程度)のグループ(ゼミ)を構成して、常勤の専任教員を配置しています。少人数の授業の良さを活かすために、主体的・積極的に授業に取り組んでください。

・「レポートの書き方」を中心とする内容ですが、高校までに培った基礎力をさらに伸ばして、大学での学びを深められるアカデミックスキルを養うことを目指しています。レポートを完成させるまでの経過において学ぶことも、しっかりと復習して身につけていきたいと思いますよ。

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007628 ゼミナールⅠ 【ナンバリング：210058】						
年度	2025	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員	三上 幾子		

學習目標(到達目標)

1. 「自らテーマを決め、読み、調べ、まとめる」スキルの基礎を身につける。
2. 自分の考えを適切に述べて、グループでの質疑応答や討論ができる。

授業概要(教育目的)

少人数のクラスに分かれ、大学での学びをスムーズに行うために必要な知識・技能・方法を主体的・能動的に学ぶ授業です。一人ひとりの「考える力」と「表現する力」を高め、卒業までのさまざまな科目の土台となるレポート作成や発表の力を身に付けます。

卒業認定・学位授与の方針との関連

健全で豊かな情操と、保育の基盤となる教養や総合的な判断力を身につけている。

評価方法

課題(レポート)の提出と、授業時の発言等の取り組み状況によって判断する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート)の成績を知りたい学生には、個別に開示する。

参考文献

『大学生学びのハンドブック』(世界思想社編集部編)世界思想社

講義時使用テキスト

『「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き』(八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部)

資格との関連

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007630 ゼミナールⅠ 渡邊ゼミ 【ナンバリング：210058】						
年度	2025	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員	渡邊 雄介		

學習目標(到達目標)

1. 「自らテーマを決め、読み、調べ、まとめる」スキルの基礎を身につける。
2. 自分の考えを適切に述べて、グループでの質疑応答や討論ができる。

授業概要(教育目的)

少人数のクラスに分かれ、大学での学びをスムーズに行うために必要な知識・技能・方法を主体的・能動的に学ぶ授業です。一人ひとりの「考える力」と「表現する力」を高め、卒業までのさまざまな科目の土台となるレポート作成や発表の力を身に付けます。

卒業認定・学位授与の方針との関連

健全で豊かな情操と、保育の基盤となる教養や総合的な判断力を身につけている。

評価方法

課題(レポート)の提出と、授業時の発言等の取り組み状況によって判断する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート)の成績を知りたい学生には、個別に開示する。

参考文献

『大学生学びのハンドブック』(世界思想社編集部編)世界思想社

講義時使用テキスト

『基礎演習とプレゼンテーション』の手引き(八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部)

資格との関連

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007714 ゼミナールⅡ 天摩ゼミ 【ナンバリング：210059】						
年度	2025	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員	天摩 雅和		

學習目標(到達目標)

学生自らが、発達障がい児の支援に関する研究テーマを設定し、調査及び文献や資料等の収集を行い、報告書を作成し発表できる能力を養う。

・調査及び文献や資料の収集を行い、報告書を作成し学生の前で発表することができる。

授業概要(教育目的)

学生自らが、発達障がいに関する研究テーマを設定し、子どもたちとの交流を通して学習したことを報告書にまとめ発表する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

授業での発表や発言、レポートなどにより総合的に判断する。

課題に対するフィードバック

レポート課題は採点の上、返却する。

参考文献

なし

講義時使用テキスト

なし

資格との関連

実務との関連

学生へのメッセージ

ゼミを通して人間的にも成長していただければと思います。

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007715 ゼミナールⅡ 差波ゼミ 【ナンバリング：210059】						
年度	2025	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員	差波 直樹		

學習目標(到達目標)

以下の2点を目標とする。

1. 遊びを体験しながら、その中にある学びについて捉え、考察することができる。

2.1で得たことを活用しながら、子どもと実際に関わろうとする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

授業へ取り組む態度と、研究テーマに基づいた協議などでの積極性などの姿勢によって評価する。

講義時使用テキスト

なし。

資格との関連

特記事項なし。

実務との関連

幼稚園教諭として、公立幼稚園に勤務した。実務経験をもとに、保育者の役割を体現しながら指導し、学生が体感的に学ぶことができるよう支援する。

授業概要(教育目的)

「保育者は、子どもとの関わりの中で様々な役割を担う。前期の学習では、実際に子どもと関わることで体感的にその役割についても感じ取ってきた。

その学びを生かしながら、今の自分に必要な、保育者としての遊ぶスキル、子どもと関わるスキル、環境を構成するスキルを、遊びの実習やプレーパーク等で子どもたちとの実際の関わりを通して学ぶことを主な目的とする。

課題に対するフィードバック

各回ごとに、本学授業支援システムを通して、気づきや評価、反省点や改善点などを個別に知らせる。

参考文献

講義内容に応じて適宜紹介する。

学生へのメッセージ

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007716 ゼミナールⅡ 中嶋ゼミ 【ナンバリング：210059】						
年度	2025	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員	中嶋 栄子		

學習目標(到達目標)

本ゼミでは、赤ちゃんを取り巻く音の世界について自らテーマを決め、読み、調べ探求をしていきます。

授業概要(教育目的)

生まれてからの1年間は、人間の一生で一番大きな成長をする時期です。子育て視点から、赤ちゃんの音環境について先人の知恵や方法などを主体的・能動的に学び、赤ちゃんについての学びを深めていくことを目標とします。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育に必要な専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな表現方法を構成することができる。

評価方法

受講態度により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

必要に応じてプリントを配布する。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007719 ゼミナールⅡ 加藤康子ゼミ 【ナンバリング：210059】						
年度	2025	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員	加藤 康子		

學習目標(到達目標)

子どもの健康と食事のかかわり、保育における食事の位置を理解し、説明できる。
クッキング保育・食教育についての知識と技術を習得し、説明できる。
味覚と食べ方の発達を促すための専門的知識を習得し、説明できる。

授業概要(教育目的)

幼児の間食(おやつ)を通して食育を考える。手づくりおやつの試作とレシピの開発、食育に関わる情報を収集し、実践的な学びを体験する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

活動についての取り組み、積極性や計画性、参加姿勢などで評価する。

課題に対するフィードバック

・試験(レポート、小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007721 ゼミナールⅡ 本吉ゼミ 【ナンバリング：210059】						
年度	2025	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員	本吉 好		

學習目標(到達目標)

本ゼミの学習目標は、子どもたちの体力・運動能力向上のための方法を学び、実践する力を身につけるため、以下の目標を設定する。

1. 幼児向け体操の創作、実践することができる
2. 子どもの自発的な活動を促すことができる運動あそびの立案、実践することができる

授業概要(教育目的)

現在、子どもたちの体力・運動能力は低下傾向にあり、幼児期の運動経験が重要視されている。そこで本ゼミは、子どもたちの体力・運動能力を向上させるための運動あそびを様々な場面(屋内、屋外など)や道具(ボールや縄など)のテーマを設定し、テーマに合わせた運動あそびの立案から実践につなげる。また、幼児の体操を創作、習得することにより、表現力や身につなげる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

グループ活動および課題に対する取り組み方や積極性等を総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

資料や映像等を通してフィードバックを行う。

参考文献

授業内で適宜指示する。

講義時使用テキスト

特に使用しない。
必要に応じて適宜提示する。

資格との関連

学生へのメッセージ

保育者になったときに、運動あそびを実行できる力を身に付けるための活動をします。

体を動かすことが好きな人、運動あそびの専門性を高めたい人、苦手だからこそ頑張りたい人はぜひお越しください。

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007722 ゼミナールⅡ 鈴木ゼミ 【ナンバリング：210059】						
年度	2025	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員	鈴木 康弘		

學習目標(到達目標)

1. 子どもから大人まで、参加者が、安心して参加できるような話し合いのルールづくりやミーティングの雰囲気作りの意義を理解することができる。
2. 「子どものための哲学」や「哲学対話」に関する著作を読み解き、話し合うこと、学び合うこと、お互いを認め合うことの大切さを理解している。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

報告やディスカッション、レポート課題を通じて総合的に評価します。

講義時使用テキスト

資格との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007723 ゼミナールⅡ 橋本ゼミ 【ナンバリング：210059】						
年度	2025	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科			担当教員	橋本 知子		

學習目標(到達目標)

1. リトミックについての理解
2. 幼児の発達に応じた指導の考察

授業概要(教育目的)

自らが活動へ積極的に参加し、研究を通し習得した技能を活かした指導展開ができることを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識を有し、リズムを通して子どもの表現力を育むことができる。

評価方法

研究の取り組み、及び講義内容の理解度等、総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

研究での課題について、都度振り返りをする。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

保育の専門的知識と技術を有し、現場での指導展開が出来る。

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007814 ゼミナールⅢ 天摩ゼミ 【ナンバリング：210060】						
年度	2025	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科			担当教員	天摩 雅和		

學習目標(到達目標)

学生自らが、発達障がい児の支援に関する研究テーマを設定し、調査及び文献や資料等の収集を行い、報告書を作成し発表できる能力を養う。

・調査及び文献や資料の収集を行い、報告書を作成しゼミナール研究発表会で発表することができる。

授業概要(教育目的)

学生自らが、発達障がいに関する研究テーマを設定し、報告書の作成と研究発表を行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

授業での発表や発言、レポートなどにより総合的に判断する。

課題に対するフィードバック

レポート課題は採点の上、返却する。

参考文献

なし

講義時使用テキスト

なし

資格との関連

実務との関連

学生へのメッセージ

ゼミを通して人間的にも成長していただければと思います。

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007815 ゼミナールⅢ 差波ゼミ 【ナンバリング：210060】						
年度	2025	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科			担当教員	差波 直樹		

學習目標(到達目標)

以下の3点を目標とする。

1. 子どもの遊びの意義や学びについて理解し、それらを保育者として保育の中に取り入れることができる。
2. プレーパークの活動について、計画し、展開し、考察し、発展させることができる。
3. 地域の子育てに関わる様々な団体と連携を取り、協働しながら、地域における自分たちの役割について考えることができる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

授業へ取り組む態度と、研究テーマに基づいた協議などでの積極性などの姿勢によって評価する。

講義時使用テキスト

なし。

資格との関連

特記事項なし。

実務との関連

幼稚園教諭として、公立幼稚園に勤務した。実務経験をもとに、保育者の役割を体現しながら指導し、学生が体感的に学ぶことができるよう支援する。

授業概要(教育目的)

自然環境を通して遊びの実践を体験しながら、自分なまたは保育者などのように展開すること。を常に念頭に置き、考察して行う。また、その体験をもとに、プレーパークを地域の中で展開し、実際に子どもと関わりながら遊びを通して学ぶことについて考察を深める。

また、八戸市や八戸圏の町村などで活動する、子育てに関わる様々な団体と連携をとり、地域の中で協働する姿勢と、連携の意義について体験を通して学ぶことを主な目的とする。

今年度は、以上のふたつな地域の諸団体の関わりを通して学ぶについて、9月開催の全国保育士養成協議会の研究大会の分科会において発表するため、その準備にも随時取り組んでいくこととする。

課題に対するフィードバック

各回ごとに、本学授業支援システムを通して、気づきや評価、反省点や改善点などを個別に知らせる。

参考文献

講義内容に応じて適宜紹介する。

学生へのメッセージ

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007816 ゼミナールⅢ 中嶋ゼミ 【ナンバリング：210060】						
年度	2025	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科			担当教員	中嶋 栄子		

學習目標(到達目標)

ハンドベルとハンドチャイムの音色による音楽の創造が出来る。
美しいものを美しいと感じ取り、演奏することの喜びを分かち合う事が出来る。

授業概要(教育目的)

演奏活動を通し、音の強弱のコントロール技術・技能を習得する。
積極的に関わり、協調・共感・思いやりの精神を学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育に必要な専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな表現方法を構成することができる。

評価方法

受講態度、ハンドベル表現発表により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

必要に応じてプリントを配布する。

資格との関連

実務との関連

学生へのメッセージ

イングリッシュハンドベルとハンドチャイムを通して音楽を楽しみ、自己を自然に表現するための技術と能力を身につけましょう。

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007819 ゼミナールⅢ 加藤康子ゼミ 【ナンバリング：210060】						
年度	2025	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科			担当教員	加藤 康子		

學習目標(到達目標)

子どもの健康と食事のかかわり、保育における食事の位置を理解し、説明できる。
クッキング保育・食教育についての知識と技術を習得し、説明できる。
味覚と食べ方の発達を促すための専門的知識を習得し、説明できる。

授業概要(教育目的)

幼児の間食(おやつ)を通して食育を考える。手づくりおやつの試作とレシピの開発、食育に関わる情報を収集し、実践的な学びを体験する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

活動についての取り組み、積極性や計画性、参加姿勢などで評価する。

課題に対するフィードバック

・試験(レポート、小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007821 ゼミナールⅢ 本吉ゼミ 【ナンバリング：210060】						
年度	2025	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員	本吉 好		

學習目標(到達目標)

本ゼミの学習目標は、子どもたちの体力・運動能力向上のための方法を学び、実践する力を身につけるため、以下の目標を設定する。

1. パラバルーンを使用したダンスを創作することができる

授業概要(教育目的)

現在、子どもたちの体力・運動能力は低下傾向にあり、幼児期の運動経験が重要視されている。そこで本ゼミは、子どもたちの体力・運動能力を向上させるための運動あそびを様々な場面(屋内、屋外など)や道具(ボールや縄など)のテーマを設定し、テーマに合わせた運動あそびの立案から実践へつなげ、指導法を習得する。また、運動会やお遊戯会等多く使用されているパラバルーンを使用し、ダンスを創作し、表現力を身に付ける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

グループ活動および課題に対する取り組み方や積極性等を総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

資料や映像等を通してフィードバックを行う。

参考文献

授業内で適宜指示する。

講義時使用テキスト

特に使用しない。
必要に応じて適宜提示する。

資格との関連

学生へのメッセージ

保育者になったときに、運動あそびを実行できる力を身に付けるための活動をします。
何事にも積極的に全力で参加できる学生はぜひお越しください。

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007823 ゼミナールⅢ 橋本ゼミ 【ナンバリング：210060】						
年度	2025	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科			担当教員	橋本 知子		

学習目標(到達目標) 1. リトミックについての理解 2. 幼児の発達に応じた指導の考察	授業概要(教育目的) リトミックに対する自らの価値観を意識し、活動へ積極的に参加する。及び、研究を通して習得した技能・技術を保育の現場で展開できることを目的とする。
---	--

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法	課題に対するフィードバック
研究への取り組み、活動内容等、総合的に評価する。	課題への取り組みについて、各自都度振り返りをする。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連	学生へのメッセージ
発達にに応じた保育の専門的知識と技術を有し、現場にてリミックスの指導展開が出来る。	

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007826 ゼミナールⅢ 三上ゼミ 【ナンバリング：210060】						
年度	2025	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員	三上 幾子		

學習目標(到達目標)

- ・絵本や幼年文学を楽しむとともに、読み聞かせをしたり、代表的な物語を朗読したりすることができる。
- ・子どもたちと文学の出会いをどのように作るか、考えることができる。

授業概要(教育目的)

さまざまな絵本や幼年文学に触れて、その楽しさを味わいつつ、子どもにとっての文学の意味を考えます。図書館などを利用して多くの作品に触れ、自分なりの子どもに手渡したい作品を見出す活動をしします。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

授業中のグループワークへの参加状況や課題の提出によって、総合的に判断する。

課題に対するフィードバック

授業の取り組みやレポートの内容については、授業中にコメントして、対話的な授業になるように心がける。

参考文献

『絵本とは何か 起源から表現の可能性まで』松本 猛(岩波書店)

講義時使用テキスト

なし

資格との関連

実務との関連

国語科教員としての経験をもとに、幼児期における絵本や紙芝居から享受するもの、幼年文学から児童文学への移行の重要性、小学校国語科教育との関わりについて、学生とともに探求する。

学生へのメッセージ

幼年文学・児童文学の楽しさを知るだけでなく、保育・教育実習や模擬保育、さらには将来保育者になった時の実践に生きるよう、意欲的に取り組んでください。ゼミナール活動を通して、子どもに手渡したい作品をぜひ見つけてください。

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007827 ゼミナールⅢ 三浦ゼミ 【ナンバリング：210060】						
年度	2025	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員	三浦 文恵		

學習目標(到達目標)

- ・絵本や幼年文学を楽しむとともに、読み聞かせをしたり、代表的な物語を朗読したりすることができる。
- ・子どもたちと文学の出会いをどのように作るか、考えることができる。

授業概要(教育目的)

さまざまな絵本や幼年文学に触れて、その楽しさを味わいつつ、子どもにとっての文学の意味を考えます。図書館などを利用して多くの作品に触れ、自分なりの子どもに手渡したい作品を見出す活動をしします。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

授業中のグループワークへの参加状況や課題の提出によって、総合的に判断する。

課題に対するフィードバック

授業の取り組みやレポートの内容については、授業中にコメントして、対話的な授業になるように心がける。

参考文献

『絵本とは何か 起源から表現の可能性まで』松本 猛(岩波書店)

講義時使用テキスト

なし

資格との関連

実務との関連

国語科教員としての経験をもとに、幼児期における絵本や紙芝居から享受するもの、幼年文学から児童文学への移行の重要性、小学校国語科教育との関わりについて、学生とともに探求する。

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007914 ゼミナールⅣ 天摩ゼミ 【ナンバリング：210061】						
年度	2025	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科			担当教員	天摩 雅和		

學習目標(到達目標)

学生自らが、発達障がい児の支援に関する研究テーマを設定し、調査及び文献や資料等の収集を行い、報告書を作成し発表できる能力を養う。

・調査及び文献や資料の収集を行い、報告書を作成しゼミナール研究発表会で発表することができる。

授業概要(教育目的)

学生自らが、発達障がいに関する研究テーマを設定し、報告書の作成と研究発表を行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

授業での発表や発言、レポートなどにより総合的に判断する。

課題に対するフィードバック

レポート課題は採点の上、返却する。

参考文献

講義時使用テキスト

なし

資格との関連

学生へのメッセージ

ゼミを通して人間的にも成長していただければと思います。

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007915 ゼミナールⅣ 差波ゼミ 【ナンバリング：210061】						
年度	2025	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科			担当教員	差波 直樹		

學習目標(到達目標)

以下の3点を目標とする。

1. 子どもの遊びの意義や学びについて理解し、それらを保育者として保育の中に取り入れることができる。
2. プレーパークの活動について、計画し、展開し、考察し、発展させることができる。
3. 地域の子育てに関わる様々な団体と連携を取り、協働しながら、地域における自分たちの役割について考えることができる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

授業へ取り組む態度と、研究テーマに基づいた協議などでの積極性などの姿勢によって評価する。

講義時使用テキスト

なし。

資格との関連

特記事項なし。

実務との関連

幼稚園教諭として、公立幼稚園に勤務した。実務経験をもとに、保育者の役割を体現しながら指導し、学生が体感的に学ぶことができるよう支援する。

授業概要(教育目的)

保育実習と教育実習を通して学んだことを生かしながら、より楽しい遊びのあり方や、グループワークの活動などについて考え、実践する。また、学生同士での構想について対話し、互いの役割を理解し合いながら子どもたちとの遊びを展開し、自信を持って活動する。こうして実践してきたことを、幼児教育や保育とつなげながら自分たちなりに考察し、成果や課題について明らかにしていくことを主な目的とする。

課題に対するフィードバック

各回ごとに、はちキャンウェブ(本学授業支援システム)を通して、気づきや評価、反省点や改善点などを個別に知らせる。

参考文献

講義内容に応じて適宜紹介する。

学生へのメッセージ

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007916 ゼミナールⅣ 中嶋ゼミ 【ナンバリング：210061】						
年度	2025	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科			担当教員	中嶋 栄子		

學習目標(到達目標)

ゼミナールⅢで培った音楽的な成果を基に、実践的な音楽表現の創造が出来る。
五感を研ぎ澄まし、美しいものを美しいと感じ取り、演奏することの喜びを分かち合う事が出来る。

授業概要(教育目的)

演奏活動を通し、音の強弱のコントロール技術・技能を習得する。
積極的に関わり、協調・共感・思いやりの精神を学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育に必要な専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな表現方法を構成することができる。

評価方法

受講態度、ハンドベル表現発表により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

必要に応じプリントを配布する。

資格との関連

実務との関連

学生へのメッセージ

イングリッシュハンドベルとハンドチャイムを通して音楽を楽しみ、自己を自然に表現するための技術と能力を身につけましょう。メロディーを奏でるのもハーモニーを創り出すのも複数のリンガーによって行われます。一つの音楽目標に各自を調和させ、音楽表現の本質を学びましょう。

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007919 ゼミナールⅣ 加藤康子ゼミ 【ナンバリング：210061】						
年度	2025	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科			担当教員	加藤 康子		

學習目標(到達目標)

子どもの健康と食事のかかわり、保育における食事の位置を理解し、説明できる。
クッキング保育・食教育についての知識と技術を習得し、説明できる。
味覚と食べ方の発達を促すための専門的知識を習得し、説明できる。

授業概要(教育目的)

幼児の間食(おやつ)を通して食育を考える。手づくりおやつの試作とレシピの開発、食育に関わる情報を収集し、実践的な学びを体験する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

活動についての取り組み、積極性や計画性、参加姿勢などで評価する。

課題に対するフィードバック

・試験(レポート、小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013007921 ゼミナールⅣ 本吉ゼミ 【ナンバリング：210061】						
年度	2025	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科			担当教員	本吉 好		

學習目標(到達目標)

本ゼミの学習目標は、子どもたちの体力・運動能力向上のための方法を学び、実践する力を身につけるため、以下の目標を設定する。

1.子どもの自発的な活動を促すことができる運動あそびの立案、実践および指導することができる

授業概要(教育目的)

現在、子どもたちの体力・運動能力は低下傾向にあり、幼児期の運動経験が重要とされている。そこで本ゼミでは、子どもたちの体力・運動能力を向上させるための運動あそびを様々な場面(屋内、屋外など)や道具(ボールや縄など)のテーマを設定し、テーマに合わせた運動あそびの立案から実践へつなぐ、指導法を習得する。また、運動会やお遊戯会でも多く使用されているパラバレーンを使用し、ダンスを創作し、表現力をもくにつける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

グループ活動および課題に対する取り組み方や積極性等を総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

資料や映像等を通してフィードバックを行う。

参考文献

授業内で適宜指示する。

講義時使用テキスト

特に使用しない。
必要に応じて適宜提示する。

資格との関連

学生へのメッセージ

保育者になったときに、運動あそびを実行できる力を身に付けるための活動をします。
何事にも積極的に全力で参加できる学生はぜひお越しください。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	運動あそび①	図書館等に関連資料を確認すること	活動内容をノートにまとめること
2	運動あそび②	前回の活動内容を確認すること	活動内容をノートにまとめること
3	発表データ作成①	前回の活動内容を確認すること	活動内容をノートにまとめること
4	発表データ作成②	前回の活動内容を確認すること	活動内容をノートにまとめること
5	発表データ作成③	入力方法について調べておくこと	活動内容をノートにまとめること
6	発表データ作成④	図書館等に関連資料を確認すること	活動内容をノートにまとめること
7	運動あそび①	前回の活動内容を確認すること	活動内容をノートにまとめること
8	運動あそび②	前回の活動内容を確認すること	活動内容をノートにまとめること

[illegible]

講義名	9013007923 ゼミナールⅣ 橋本ゼミ 【ナンバリング：210061】						
年度	2025	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科			担当教員	橋本 知子		

學習目標(到達目標)

1. エミール・ジャック＝ダルクローズの理念を考察する
2. リトミックを通し育まれる能力についての研究
3. 自身が考えるリトミックのあり方についての考察

授業概要(教育目的)

保育の現場において発達に応じたリトミック指導が展開できることを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識を有し、音楽を通し子どもの表現力を育むことができる。

評価方法

研究への取り組み、講義内容の理解等、総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

研究における課題について、各自都度振り返りをする。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

保育の専門的知識を有し、発達に応じたリミックスの指導展開が出来る。

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013008100 海外事情 【ナンバリング：100007】						
年度	2025	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員	グレゴリー・アンソニー		

學習目標(到達目標)

「海外事情」は国際理解教育の観点から、外国に一定期間滞在して、人的交流と語学研修等を通して、具体的かつ実践的な海外各国の異文化の事情等を学ぶことを目的とする。異文化や異国でのビジネス等に触れることにより、広い視野と積極性に基づく国際理解を身につけ説明できる。

授業概要(教育目的)

①＜タイ＞タイ国チェンマイ市の歴史や博物館、病院、福祉施設などの見学を通して、異文化を理解し、国際感覚を培うことを目的として実施する。

②＜EF＞学校法人光星学院が協定を結んでいるEF（イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社）が提供する世界各地への語学留学プログラムに参加する。

* 注意事項

上記①～②の研修に参加する予定の学生は、あらかじめ「海外事情」を履修登録すること。また、研修参加後に「海外事情」と「英語コミュニケーション」の単位認定を希望する学生は、教務学生課において修了証等の写しとともに、「単位認定願」を必ず提出すること。

なお、参加費は実費で、費用に含まれるのは次の通りである。

1) 交通費(国内の移動費、航空運賃)と海外旅行傷害保険

2) 英語研修費と諸活動費の一
3) その他費用(現地移動費等)

卒業認定・学位授与の方針との関連

「神を敬し、人を愛する」というカトリック精神に基づき、幅広い教養および総合的な判断力と豊かな人間性を身につけている。

評価方法

海外事情に関する事前講義、現地における各種研修、帰国後に行う事後講義・レポート提出・プレゼンテーション等により、教員が必要に応じて受講や発表を決定しその内容で評価する。

課題に対するフィードバック

事前研修プログラム最中にプログラム担当者が口頭でフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

後日指定する。
団体行動を基本としたスケジュールを組んでいるので、その自覚と意欲ある者の履修を求める。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013008200 合唱Ⅰ 【ナンバリング：110011】						
年度	2025	開講時期	通年	講義区分	実技	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員	中嶋 栄子		

學習目標(到達目標)

1. ソルフェージュを用い実践的な基礎知識を修得する。
2. 発声のための身体機能を学び、楽譜・音符・リズムを理解し表現できる。
3. ハーモニーの重厚さを培い、オーケストラ化を図る。
4. 歌の内容を十分に理解し豊かな感性と集中力を養う。

授業概要(教育目的)

1. 発声における横隔膜、腹式呼吸の活用ができる。
2. 発声器官、共鳴腔の基本トレーニングができる。
3. 声帯の仕組みを学び声の響きを引き出すことができる。
4. 音楽を積極的に学ぶ意欲と、本学のカトリック精神に基く宗教音楽を通して、音楽性豊かな合唱表現とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

健全で豊かな情操と、保育の基盤となる教養や総合的な判断力を身につけている。

評価方法

表現発表、受講態度(自己評価チェックシート)にて総合評価する。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

学歌、オラトリオ「メサイア」よりHallelujah
八戸学院大学短期大学部幼児保育学科編纂

資格との関連

卒業必修単位

実務との関連

学生へのメッセージ

「神を敬し、人を愛する」というカトリック精神に基づき、美しいハーモニーづくりを通して、幅広い教養および総合的な判断力と豊かな人間性を身につけていきましょう。

授業計画表

[illegible]

講義名	9013008300 合唱Ⅱ 【ナンバリング：110012】						
年度	2025	開講時期	通年	講義区分	実技	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科			担当教員	中嶋 栄子		

學習目標(到達目標)

1. 合唱における基礎知識を修得する。
2. 発声のための身体機能を体现できる。
3. ハーモニーの重厚さを培い、オーケストラ化を図る。
4. 歌の内容を十分に理解し豊かな感性と集中力を養う。

授業概要(教育目的)

1. 発声における呼吸法・発音・音色の方向性を身につける。
2. 理論と実践の融合を図りながら、カトリズムに則した品性を培う。
3. 合唱の喜びや意義を考えさせ、心豊かな楽しい演奏を表現する。
4. カトリズムに則り、宗教音楽の精神性を柱とした合唱表現ができる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

健全で豊かな情操と、保育の基盤となる教養や総合的な判断力を身につけている。

評価方法

- ・受講態度(合唱評価シート)、表現発表にて総合評価する。
- ・星の子シアター参加を必須とする。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

学歌、オラトリオ「メサイア」よりHallelujah
八戸学院大学短期大学部幼児保育学科編纂

資格との関連

卒業必修単位

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013008500 美術Ⅱ 【ナンバリング：100014】						
年度	2025	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員			

學習目標(到達目標)

絵画や彫刻の歴史的な成り立ちを理解した上で、自由でのびのびとした表現力を発揮できる。
また鑑賞において幼児をや児童を対象とした鑑賞教育の事例を知り、実施計画を立てられる。

授業概要(教育目的)

「美術I」において習得した基本的な知識や技能から、さらに専門的な美術技法や方法を知り実践する。

本学では美術の歴史をわかりやすく紹介するとともに、デッサンや油絵など個人では実践しにくい専門的な実技を演習形式で取り組む。

近年では実技教育のほか、鑑賞教育が重要視されていることから、鑑賞の基本的なルールや対峙態度など現代の鑑賞方法も学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「神を敬し、人を愛する」というカトリック精神に基づき、幅広い教養および総合的な判断力と豊かな人間性を身につけている。

評価方法

作品及びレポート(期限と内容による評価)、受講態度(制作評価と作品評価)

課題に対するフィードバック

作品は一定期間保管し、代表的な作品に対する評価を学生にフィードバックし、返却する。
成績について疑問のある学生は個別に開示する。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

実務との関連

図画工作非常勤講師として横浜国立大学教育人間科学部附属鎌倉小学校に5年間勤務し、初等教育機関での実務経験をもとに子どもの豊かな表現の育み方について伝えていきます。

幼稚園等における造形教育、ワークショップ等の幼児教育機関での実務経験をもとに子どもの豊かな表現の育み方について伝えていきます。

現代美術家としての表現活動、ギャラリーや美術館、アートプロジェクト等での発表活動等の実務経験とともに、美術の豊かな、人に与える影響の大きさについて伝えていきます。

授業計画表

[illegible]

講義名	9013009300 社会的養護Ⅰ 【ナンバリング：202006】						
年度	2025	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員	天摩 雅和		

學習目標(到達目標)

本科目では、社会的養護の意義、制度や実施体系及び児童の権利擁護について習得する。また、児童福祉施設の役割や養護の実際、今日的動向について理解することを目的とする。

- ・児童福祉施設の種別や児童養護の歴史、施設の形態、里親制度について説明できる。
- ・社会的養護の体系や関係機関との連携について説明できる。
- ・児童福祉施設の役割について説明できる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

定期試験、課題提出状況、受講態度等により総合的に判断する。

講義時使用テキスト

保育実践と社会的養護(勁草書房)井村圭壯・相澤譲治 編

資格との関連

保育士資格選択科目

実務との関連

授業概要(教育目的)

社会的養護における基本的な福祉の仕組みや施設における生活支援方法、施設保育士の専門性について学び、保育士が社会的養護の中でとるべき適切な児童との関わり方について理解を深める。

課題に対するフィードバック

試験の成績を知りたい学生には個別に伝える。

参考文献

学生へのメッセージ

社会的養護とは家庭に代わって、社会が子どもを養育することです。
児童養護施設等の施設での養護、里親等の家庭での養護について学
んでいきましょう。

授業計画表

[illegible]

講義名	9013010000 保育の計画と評価 【ナンバリング：202019】						
年度	2025	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科			担当教員	油川 育子		

學習目標(到達目標)

1. 全体的な計画に関して基本の姿勢を学び、乳幼児期特有のカリキュラムについて説明できる。
2. 全体的な計画の事例から、子どもの遊びと生活を通して環境に働きかけていくことの重要性について説明できる。
3. 保育の記録と保育実践の評価と省察について学びを深め「評価」が専門性の向上に繋がるという流れについて説明できる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子ども一人ひとりの育ちの多面的な理解から、心身の発達を引き出す豊かな保育環境・計画を創り上げることができる。

評価方法

レポート課題、授業への取り組み方、定期試験により総合的に評価する。

講義時使用テキスト

「保育の計画と評価」宮川萬寿美氏編著 萌文書林

資格との関連

保育士資格必修科目

実務との関連

授業概要(教育目的)

本講義では、「幼稚園教育要領」や「保育所保育指針」また「幼稚園型認定こども園教育・保育要領」に基づいた基本的な考え方や「特に保育所保育指針」や乳幼児の視点に立った指導計画の作成の要件について学ぶことで、自分の保育を構想し構成できるとし、保育内容の充実と質の向上を目指すための「保育計画」の実践「観察」「評価」「改善」「改善した保育実践」の過程についての重要性を学ぶことを目的とする。

課題に対するフィードバック

・期末試験の成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

学生へのメッセージ

「計画」と「実践」と「評価」は、互に強く関連して成り立っている。包括的に取り組むことが保育の質を高める。「計画」「実践」「評価の仕方」について学んでまいりましょう。

授業計画表

[illegible]

講義名	9013010100 乳児保育Ⅰ 【ナンバリング：202063】						
年度	2025	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員	加藤 康子		

學習目標(到達目標)

1. 乳児保育の意義・目的と歴史的変遷および役割などについて説明することができる。
2. 保育所、乳児院など多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について説明することができる。
3. 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制について説明することができる。
4. 乳児保育における職員間の連携、協働および保護者や地域の関係機関との連携について説明することができる。

授業概要(教育目的)

乳児保育の現状と課題についての理解を深め、保育現場における乳児やその保護者を取り巻く地域環境と連携する必要性や、3歳未満児の発育を促進する保育の役割について理解する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子ども一人ひとりの育ちの多面的な理解から、心身の発達を引き出す豊かな保育環境・計画を創り上げることができる。

評価方法

筆記試験、課題レポートなどにより評価する。

課題に対するフィードバック

課題レポート、小テスト、毎時間提出された振り返りシートにコメントを記入し、返却する。

参考文献

保育所保育指針解説 平成30年3月 厚生労働省/編 フレーベル館

講義時使用テキスト

松本峰雄監修、池田りな/才郷眞弓/土屋 由/堀 科/著 乳児保育演
習ブック〔第2版〕ミネルヴァ書房

資格との関連

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013010200 乳児保育Ⅱ Aクラス 【ナンバリング：202027】						
年度	2025	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員	加藤 康子		

學習目標(到達目標)

1. 3歳未満児の育ち、発達過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について説明することができる。
2. 養護および教育の一性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法と体系性について、具体的な方法を述べることができる。
3. 乳児保育における配慮の実践について、具体的な保育について述べる。
4. 上記1～3を踏まえ、乳児保育における計画の作成の仕方を説明することができる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子ども一人ひとりの育ちの多面的な理解から、心身の発達を引き出す豊かな保育環境・計画を創り上げることができる。

評価方法

筆記試験、課題レポートなどにより総合的に評価する。

講義時使用テキスト

松本峰雄監修、池田りな・才郷眞弓・土屋由・堀科 著 乳児保育演習
ブック〔第2班〕ミネルヴァ書房

資格との関連

実務との関連

授業概要(教育目的)

3歳児未満児の発育・発達特性を踏まえて、生活と遊び、心と身体の育ちの相互関係を考へて、保育の関わり方の基本を学ぶことを目的とする。発達と学びの連続性のために3歳未満児の生活や遊び、環境、保育について実践できるように学んでいく。また、乳児保育の全体的な計画や指導計画について考えることができる。

課題に対するフィードバック

提出された課題レポート、小テスト、毎時間提出された振り返りシートにコメントを記入し、返却する。

参考文献

保育所保育指針解説 平成30年3月 厚生労働省/編 フレーベル館

学生へのメッセージ

講義中は私語をせず、質問に対しては積極的に発言しましょう。また、グループワークは積極的に参加し、きちんと自分を意見を述べ、他人の意見にも耳を傾け、円滑なディスカッションできるように努力しましょう。

授業計画表

[illegible]

講義名	9013010201 乳児保育Ⅱ Bクラス 【ナンバリング：202027】						
年度	2025	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員	加藤 康子		

學習目標(到達目標)

1. 3歳未満児の育ち・発達の特徴や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について理解することができる。
2. 養護および教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について、具体的な方法を述べることができる。
3. 乳児保育における配慮の実践について、具体的な保育について述べる。
4. 上記1～3を踏まえ、乳児保育における計画の作成の仕方を理解することができる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子ども一人ひとりの育ちの多面的な理解から、心身の発達を引き出す豊かな保育環境・計画を創り上げることができる。

評価方法

筆記試験、課題レポートなどにより総合的に評価する。

講義時使用テキスト

松本峰雄監修、池田りな・才郷眞弓・土屋由・堀科 著 乳児保育演習
ブック〔第2班〕ミネルヴァ書房

資格との関連

実務との関連

授業概要(教育目的)

3歳児未満児の発育・発達特性を踏まえて、生活と遊び、心と身体の育ちの相互関係を考慮して、保育の関わり方の基本を学ぶことを目的とする。発達と学びの連続性のために3歳未満児の生活や遊び、環境、保育について実践できるように学んでいく。また、乳児保育の全体的な計画や指導計画について考えることができる。

課題に対するフィードバック

提出された課題レポート、小テスト、毎時間提出された振り返りシートにコメントを記入し、返却する。

参考文献

学生へのメッセージ

講義中は私語をせず、質問に対しては積極的に発言しましょう。また、グループワークは積極的に参加し、きちんと自分を意見を述べ、他人の意見にも耳を傾け、円滑なディスカッションできるように努力しましょう。

授業計画表

[illegible]

學習目標(到達目標)	授業概要(教育目的)
------------	------------

評価方法

講義時使用テキスト

実務との関連

[illegible]

講義名	9013010500 社会的養護Ⅱ Aクラス 【ナンバリング：202030】					
年度	2025	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次
対象学科	幼児保育学科			担当教員	大木 えりか	

学習目標(到達目標)

1. 社会的養護の体系を振り返り、それぞれの機能とサービス内容を理解し実践につなげることができる。
2. 個々の児童の自立支援に向けた個別支援計画の作成ができる。
3. 社会的養護にかかわるソーシャルワークの基礎的な技法を使うことができる。
4. 社会的養護を通じて、家庭支援、児童家庭福祉、地域福祉等との関連性を理解するとともに、総合的な視点に立って支援することの必要性を説明できる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

保育者としての責務を理解し、他の保育者や専門職者と協働して、子どもの最善の利益を追求することができる。

評価方法

定期試験、グループ討議での参加度、課題提出状況、受講態度等により総合的に評価する。

講義時使用テキスト

「児童の福祉を支える＜演習＞社会的養護Ⅱ」（第2版） 吉田眞理 編著 萌文書林

資格との関連

保育士資格必修科目

実務との関連

授業概要(教育目的)

子どもの養護に携わる保育士が、子どもの権利を擁護していくために必要となる具体的な援助の視点や方法について学ぶとともに、社会的養護のもとで生活する子どもたちの支援計画の立て方やその内容等について事例を用いながら具体的に学ぶことを目的とする。さらに今後の社会的養護の課題と今後の展望についても自分で考え、説明できることを目指している。

この科目は演習科目であり、グループディスカッションにより、個々の知識と思考をアウトプットすることで、ブラッシュアップしていく。

課題に対するフィードバック

毎時間、重要課題や重要用語について、問題形式にしてプリントし配布するので、各自で授業の中で記述する。さらに次の授業で解答を示して理解の徹底を図る。

試験（レポート、小テスト）の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

学生へのメッセージ

子どもを取り巻く社会問題に関心を持ち、新聞を意識して読むようにすること。

また、県内の児童福祉施設について、どこにどのような施設があるのか、その施設の機能と役割についても自分で調べて理解を深めること。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション (1)授業の概要と目標 (2)授業内容と評価方法及び留意点 子どもの最善の利益	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
2	生存と発達 の保障 児童自立支援計画の作成と記録及び自己評価	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
3	子どもの権利を守る仕組み 支援者としての資質と倫理	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
4	バーンアウトと共依存の予防 児童養護の体系と児童福祉施設	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
5	児童養護施設の暮らし 乳児院と母子生活支援施設の暮らし	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
6	医療型障害児入所施設の暮らし 治療的支援と児童自立支援施設・児童心理治療施設の暮らし	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
7	福祉型障害児入所施設の暮らし 里親制度の特徴とその実際	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
8	保育士の業務 虐待された子どもへの支援 虐待への対応	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
9	親子関係の調整	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
10	相談援助の技術の活用	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
11	入所から退所後に至る支援と基本的日常生活支援① (アドミッションケアについて考えよう)	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
12	入所から退所後に至る支援と基本的日常生活支援② (「日課」や「生活のルール」の意味について考えよう) (基本的日常生活支援)	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
13	入所から退所後に至る支援と基本的日常生活支援③ (リーピングケアについて考えよう) (アフターケアについて考えよう)	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
14	地域連携と家庭支援	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す

講義名	9013010501 社会的養護Ⅱ Bクラス 【ナンバリング：202030】					
年度	2025	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次
対象学科	幼児保育学科			担当教員	大木 えりか	

学習目標(到達目標)

1. 社会的養護の体系を振り返り、それぞれの機能とサービス内容を理解し実践につなげることができる。
2. 個々の児童の自立支援に向けた個別支援計画の作成ができる。
3. 社会的養護にかかわるソーシャルワークの基礎的な技法を使うことができる。
4. 社会的養護を通じて、家庭支援、児童家庭福祉、地域福祉等との関連性を理解するとともに、総合的な視点に立って支援することの必要性を説明できる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。
保育者としての責務を理解し、他の保育者や専門職者と協働して、子どもの最善の利益を追求することができる。

評価方法

定期試験、グループ討議での参加度、課題提出状況、受講態度等により総合的に評価する。

講義時使用テキスト

「児童の福祉を支える＜演習＞社会的養護Ⅱ」（第2版） 吉田眞理 編著 萌文書林

資格との関連

保育士資格必修科目

実務との関連

授業概要(教育目的)

子どもの養護に携わる保育士が、子どもの権利を擁護していくために必要となる具体的な援助の視点や方法について学ぶとともに、社会的養護のもとで生活する子どもたちの支援計画の立て方やその内容等について事例を用いながら具体的に学ぶことを目的とする。さらに今後の社会的養護の課題と今後の展望についても自分で考え、説明できることを目指している。
この科目は演習科目であり、グループディスカッションにより、個々の知識と思考をアウトプットすることで、ブラッシュアップしていく。

課題に対するフィードバック

毎時間、重要課題や重要用語について、問題形式にしてプリントし配布するので、各自で授業の中で記述する。さらに次の授業で解答を示して理解の徹底を図る。
試験（レポート、小テスト）の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

学生へのメッセージ

子どもを取り巻く社会問題に関心を持ち、新聞を意識して読むようにすること。
また、県内の児童福祉施設について、どこにどのような施設があるのか、その施設の機能と役割についても自分で調べて理解を深めること。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション (1)授業の概要と目標 (2)授業内容と評価方法及び留意点 子どもの最善の利益	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
2	生存と発達 の保障 児童自立支援計画の作成と記録及び自己評価	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
3	子どもの権利を守る仕組み 支援者としての資質と倫理	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
4	バーンアウトと共依存の予防 児童養護の体系と児童福祉施設	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
5	児童養護施設の暮らし 乳児院と母子生活支援施設の暮らし	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
6	医療型障害児入所施設の暮らし 治療的支援と児童自立支援施設・児童心理治療施設の暮らし	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
7	福祉型障害児入所施設の暮らし 里親制度の特徴とその実際	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
8	保育士の業務 虐待された子どもへの支援 虐待への対応	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
9	親子関係の調整	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
10	相談援助の技術の活用	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
11	入所から退所後に至る支援と基本的日常生活支援① (アドミッションケアについて考えよう)	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
12	入所から退所後に至る支援と基本的日常生活支援② (「日課」や「生活のルール」の意味について考えよう) (基本的日常生活支援)	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
13	入所から退所後に至る支援と基本的日常生活支援③ (リーピングケアについて考えよう) (アフターケアについて考えよう)	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
14	地域連携と家庭支援	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す

講義名	9013010601 子育て支援 Bクラス 【ナンバリング：202031】						
年度	2025	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科			担当教員	天摩 雅和		

學習目標(到達目標)

本科目では、主として就学前の乳幼児の保育に関して、保護者等の疑問、質問、相談に応じ、保護者自らが考え、工夫して乳幼児を育てていくことができるように支援するための知識・技術を習得する。

- ・子育て支援の意義について説明できる。
- ・子育て支援の原則について説明できる。
- ・子育て支援を行う上での技術や留意点について説明できる。

授業概要(教育目的)

子育て支援の意義と原則について理解すると共に、子育て支援の実際を事例を通して学び、保護者支援の意義や内容について理解する。また、保護者支援の事例から現在の子育て支援の抱える課題についても明らかにし、その解決策について講じる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

定期試験、課題提出状況、受講態度等により総合的に判断する。

課題に対するフィードバック

試験の成績を知りたい学生には個別に伝える。

参考文献

講義時使用テキスト

1. 「演習・保育と子育て支援」(株)みらい 編集 小原敏郎他

資格との関連

保育士資格選択科目

学生へのメッセージ

保護者への子育て支援について考えていきましょう。

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013010800 地域文化論						
年度	2025	開講時期	後期後半	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員	澤井 睦美		

學習目標(到達目標)

1. 八戸を中心とする南部地域の歴史とその特性を説明できる
2. 八戸を中心とする南部地域の文化とその特性を説明できる
3. 八戸を中心とする南部地域の自然とその特性を説明できる
4. 八戸を中心とする地域社会の現状と課題を説明できる

授業概要(教育目的)

本書のディプロマ・ポリシーには「郷土を愛する心」や「地域社会に貢献」の文言が含まれる。保育や介護の専門性を身に付け、豊かな地域社会の創造に携わる人材を育成すること为本学の大きな目的であり、そのためには地域の歴史、自然、文化、産業等について知ることが不可欠である。本講義では、こうした地域に関する知識を多領域にわたって広げ学ぶこと、また複眼的な視点からその特性を知り理解を深めていくことをねらいとする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

人を愛し、郷土を愛する心を有し、豊かな教養と人間性を身につけている。
健全で豊かな情操と、保育の基盤となる教養や総合的な判断力を身につけている。

評価方法

出席状況、レポート・感想文等の提出物によって合・否で評価する。

課題に対するフィードバック

提出された課題(レポート、感想文)について、次時授業でいくつか紹介しながらフィードバックする。

参考文献

なし

講義時使用テキスト

適宜、資料を配布する。

資格との関連

実務との関連

豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域が有する自然や文化や特徴について理解し、こどもに説明できる(幼児保育学科)。

授業計画表

[illegible]

講義名	9013011100 日本語表現						
年度	2025	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員	三上 幾子		

學習目標(到達目標)

国語で適切に表現する能力と伝えあう力を高め、思考力を伸ばして言語感覚を磨く。

1「聞く」「話す」「書く」ことがバランスよくできる。

2 国語の基礎的知識を活用して、保育者として求められる適切な表現を行うことができる。

3 さまざまな文章に触れて思考力と言語感覚を磨き、自分の考えを適切に表現することができる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

健全で豊かな情操と、保育の基礎となる教養や総合的な判断力を身につけている。

評価方法

定期試験・課題の提出・小テスト・授業時の取り組み状況などで総合的に評価する。

講義時使用テキスト

『保育者をめざす人のためのことばの表現 話す・聞く・書く』(篠原京子・増田 泉、建帛社)

資格との関連

保育士資格選択科目

実務との関連

授業概要(教育目的)

「聞く」、「話す」、「書く」それぞれの分野について、教科書、新聞、図書等、新しい資料や教材を用いて講義を進め、自分の考えを文章や言葉で表現する機会を多く設ける。毎時間、講義に加えてグループワークやディスカッション等を行う。

課題に対するフィードバック

試験(レポート、小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

『保育系学生のための日本語表現トレーニング』(渡辺弥生 平山祐一郎 藤枝静暁編著 三省堂)

学生へのメッセージ

保育者を指すみなさんにとって、「話す」「聞く」「書く」という国語に関わる表現は、大変重要な技術です。毎時間の授業で繰り返し練習や演習を行うことで、日常的に、自然に使える技術になりますので、ぜひ積極的に取り組んでください。

授業計画表

[illegible]

講義名	9013012300 保育内容「環境」の指導法 Aクラス						
年度	2025	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科			担当教員	田頭 初美		

學習目標(到達目標)

領域「環境」が幼児保護携行認定こども園教育保育要領ならびに幼稚園教育要領や保育指針の中心でどのように位置づけられ、保育者としてそれをどのように受け止める、子ども達の心を讀みとっていくのかという基本的な姿勢を持てるようにする。また「環境の構成」が保育において重要な意味を持っているというを理解するとともに、子どもを取り巻く人的・物的「環境」や自然環境について知識を得ることをめざしている。

授業概要(教育目的)

学校教育法第22条に記されているように、幼稚園教育の目的は「幼児の健康な成長のために適当な環境を与えて、その身の発達を助長することを目的とする」ことにある。また、幼稚園法施行細則にも「園教育・保育要綱には乳幼児の特性および保護者や地域の実情をふまえ、環境を通して行うべきことを基本とし、家庭や地域での生活をふまえて、園児の生活全体が豊かなものとなるように努めなくてはならない」とされ、「環境」というキーワードは、就学前教育・保育において、非常に重要なものであることを認識してほしい。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

受講態度・試験・レポートの提出などを総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

期末試験の成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説

資格との関連

幼稚園教諭二種必修科目、保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

保育者に必要な感性を豊かにする為にも、日常の中で見るもの、聞くもの、触れるものに敏感に対応し、心で感じ取る力を身につけて欲しい。

実務との関連

[illegible]

講義名	9013012400 保育内容「言葉」の指導法 Aクラス						
年度	2025	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科			担当教員	三浦 文恵		

學習目標(到達目標)

- ・子どもが言葉を獲得していく過程や発達のだん筋をとらえ理解を深める。
- ・子どもがどのような過程を経て正しい言葉を習得するか説明することができる。
- ・言葉の音声表現について、実践などを伝えることができる。

授業概要(教育目的)

講義、演習(絵本の読み聞かせ、紙芝居披露)などにより、「言葉」の領域に関する教材の選択や指導方法を具体的に学習する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

試験、課題レポート、制作物、演習(絵本の読み聞かせ・紙芝居)などで総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

- ・課題のプリントは次の授業で解説し、模範解答をフィードバックする。
- ・試験の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

講義時使用テキスト

新訂 保育内容指導法「言葉」(田上貞一郎、高荒正子)・萌文書林

資格との関連

幼稚園教諭二種免許必修科目、保育士資格必修科目

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013012401 保育内容「言葉」の指導法 Bクラス						
年度	2025	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科			担当教員	三浦 文恵		

學習目標(到達目標)

- ・子どもが言葉を獲得していく過程や発達のだん筋をとらえ理解を深める。
- ・子どもがどのような過程を経て正しい言葉を習得するか説明することができる。
- ・言葉の音声表現について、実践などを伝えることができる。

授業概要(教育目的)

講義、演習(絵本の読み聞かせ、紙芝居披露)などにより、「言葉」の領域に関する教材の選択や指導方法を具体的に学習する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

試験、課題レポート、制作物、演習(絵本の読み聞かせ・紙芝居)などで総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

- ・課題のプリントは次の授業で解説し、模範解答をフィードバックする。
- ・試験の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

講義時使用テキスト

新訂 保育内容指導法「言葉」(田上貞一郎、高荒正子)・萌文書林

資格との関連

幼稚園教諭二種免許必修科目、保育士資格必修科目

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013012900 絵本と紙芝居の世界						
年度	2025	開講時期	後期前半	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員			

學習目標(到達目標)

1. 伝承のお話を子どもに伝えることができる。
2. 子どもの年齢、発達に応じた絵本の読み聞かせができる。
3. 自分の名前絵本を製作し、自己紹介ができる。
4. 絵本の読み聞かせのプログラム作りや手法を学ぶ。

授業概要(教育目的)

1. 子どもの感性、創造力を育てる「読み聞かせ」や「お話」をするために伝承の文学の成り立ちを知り、物語を読み、確認する。また、テキストで紹介された長く読まれている絵本や、新刊の話題作など、多くの絵本に触れる。
2. 実習で使用する、自己紹介の自分だけの絵本を作る。
3. 年齢にあった、読み聞かせのプログラムを作る。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

提出課題・演習の総合点で評価する。

課題に対するフィードバック

課題(制作絵本、計画書)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

1. 三宅興子・多田昌美「児童文学12の扉を開く」(翰林書房)
2. 中村砥子「絵本は友達」(福音館)
3. 松居 直「絵本とは何か」(日本デューケーターズスクール 出版部)

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

子ども達に読み聞かせを楽しんでもらうため、また自分が読み聞かせを通してたくさんの絵本に触れ、絵本の魅力を知り、読み聞かせのスペシャリストを目指しましょう。

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013013100 ピアノⅠ Aクラス						
年度	2025	開講時期	前期	講義区分		対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員	中嶋 栄子		

學習目標(到達目標)

- 音楽理論を理解し、階名読みやリズムなどの読譜力を身に着ける。
- 継続的に、ピアノに取り組む姿勢を養う。
- バイエル、弾き歌いのためのコードネームを理解し実践できる。
- ピアノ演奏を通し、個の人格形成やモチベーションの向上を図り、豊かな表現ができる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

ピアノ表現発表、受講態度(ピアノレッスン進度票・自己チェックシート)によって評価する。

講義時使用テキスト

幼児のための表現指導 うたって・つくって・あそぼう 幼児表現教育研究会＝編著 出版：音楽之友社

資格との関連

保育士資格選択科目

実務との関連

保育士・幼稚園教諭・中学、高校の教員免許のほか、ピアノ指導、声楽、ソルフェージュ、合唱の指導経験を有している。その他、演奏活動多数。

授業概要(教育目的)

子どもが音楽表現に触れることで、感性豊かに育ち、音楽を通して誰もが表現を楽しめるよう援助できる事が、保育者の専門性にとって不可欠なものとなる。子どもの豊かな感性を育てるため、指導者が楽しんでピアノや弾き歌いができるよう、基礎・基本の定着を図る。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

1. バイエル 教則本
2. ブルグミュラー25の練習曲
3. ツェルニー100番練習曲
4. ツェルニー30番練習曲
5. ソナチネ、ソナタ、シュベルト、メンデルスゾーン、ショパン、ベートーヴェン、その他。

学生へのメッセージ

ピアレッスンに慣れるまで時間がかかります。先生方の助言を良く聞き、個人で毎日練習をしレッスンを臨んで下さい。

爪が長いと挟まって割れてしまうこともあります。爪は短く切り、受講して下さい。

ピアノ表現発表は皆の前で演奏してもらいます。指導者になった時に困らないように基本的技術を身につけましょう。

授業計画表

[illegible]

講義名	9013013101 ピアノⅠ Bクラス						
年度	2025	開講時期	前期	講義区分		対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員	中嶋 栄子		

學習目標(到達目標)

- 音楽理論を理解し、階名読みやリズムなどの読譜力を身に着ける。
- 継続的に、ピアノに取り組む姿勢を養う。
- バイエル、弾き歌いのためのコードネームを理解し実践できる。
- ピアノ演奏を通し、個の人格形成やモチベーションの向上を図り、豊かな表現ができる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

ピアノ表現発表、受講態度(ピアノレッスン進度票・自己チェックシート)によって評価する。

講義時使用テキスト

幼児のための表現指導 うたって・つくって・あそぼう 幼児表現教育研究会＝編著 出版：音楽之友社

資格との関連

保育士資格選択科目

実務との関連

中学、高校の教員免許のほか、ピアノ指導、声楽、ソルフェージュ、合唱の指導経験を有している。その他、演奏活動多数。

授業概要(教育目的)

子どもが音楽表現に触れることで、感性豊かに育ち、音楽を通して誰もが表現を楽しめるよう援助できる事が、保育者の専門性にとって不可欠なものとなる。子どもの豊かな感性を育てるため、指導者が楽しんでピアノや弾き歌いができるよう、基礎・基本の定着を図る。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

1. バイエル 教則本
2. ブルグミュラー 25の練習曲
3. ツェルニー 100番練習曲
4. ツェルニー 30番練習曲
5. ソナチネ、ソナタ、シューベルト、メンデルスゾーン、ショパン、ベートーヴェン、その他。

学生へのメッセージ

ピアレッスンに慣れるまで時間がかかります。先生方の助言を良く聞き、個人で毎日練習をしレッスンを臨んで下さい。

爪が長いと挟まって割れてしまうこともあります。爪は短く切り、受講して下さい。

ピアノ表現発表は皆の前で演奏してもらいます。指導者になった時に困らないように基本的技術を身につけましょう。

授業計画表

[illegible]

學習目標(到達目標)	授業概要(教育目的)
------------	------------

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法	課題に対するフィードバック
------	---------------

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連	学生へのメッセージ
--------	-----------

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013013201 ピアノⅡ Bクラス						
年度	2025	開講時期	後期	講義区分		対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員	中嶋 栄子		

學習目標(到達目標)	授業概要(教育目的)
------------	------------

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法	課題に対するフィードバック
------	---------------

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連 学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013013202 ピアノⅡ 3年コース						
年度	2025	開講時期	後期	講義区分		対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員	中嶋 栄子		

學習目標(到達目標)

1. 音楽理論、読譜、和声づけ等を理解し、表現できる。
2. 弾き歌いのためのコードネームを理解し実践できる。
3. 保育士・幼稚園教諭にふさわしい基礎技能を高め、弾き歌いができる。
4. ピアノ演奏を通し、個人の人格形成やモチベーションの向上を図り、豊かな表現ができる。

授業概要(教育目的)

1. ピアノを弾く姿勢、楽譜を読む能力、音楽用語、和声等を理解する。
2. 「うたってつくってあそぼう」の冊子から現場で活用できる曲を数多く身に付ける。
3. 弾き歌いは保育者にとって必要不可欠な技能であるので実習で活用できるように学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

受講態度・弾き歌いとピアノ実技試験によって評価する。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

1. うたって・つくって・遊ぼう(幼児表現教育研究会、音楽之友社)

講義時使用テキスト

資格との関連

保育士資格選択必修科目

実務との関連

保育士・幼稚園教諭・中学、高校の教員免許のほか、ピアノ指導、声楽、ソルフェージュ、合唱の指導経験を有している。その他、演奏活動多数。

学生へのメッセージ

ピアノレッスンに慣れるまで時間がかかります。担当教員の助言を良く聞いて、個人で練習した曲を見てもらいましょう。
ピアノの発表発表は、皆の前で演奏してもらいます。指導者になった時に困らないように基本的技術を身につけましょう。
爪は、ピアノを弾くのに適切に長さとし、受腫れしましょう。
日々の練習の積み重ねが大切で、欠席しないようにしましょう。

授業計画表

[illegible]

學習目標(到達目標)	授業概要(教育目的)
------------	------------

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法	課題に対するフィードバック
------	---------------

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連 学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

[illegible]

講義名	9013013301 ピアノレッスンⅢ Bクラス						
年度	2025	開講時期	前期	講義区分		対象年次	2
対象学科	幼児保育学科			担当教員	中嶋 栄子		

學習目標(到達目標)	授業概要(教育目的)
------------	------------

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法	課題に対するフィードバック
------	---------------

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連 学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

[illegible]

學習目標(到達目標)	授業概要(教育目的)
------------	------------

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法	課題に対するフィードバック
------	---------------

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連 学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

[illegible]

